![C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf]()園長だより　令和２年２月号（20200228）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　園長　平澤　正則

平澤の独り言

新型コロナウィルスの騒ぎ、私にはこれが異常に見えてなりません。感染したら寝ていればいいのです。では、いくら何でも乱暴ですか。見えない恐怖というものはわかりますが、みんながみんな死ぬわけじゃなし、罹患者数だって検査すればもっと多かったりして…。それを言い出しづらい風潮も心配です。様々な会合や行事を中止し、人々の経済活動（金儲けの話ではなく、日々の生活のことです。）にまで大きな影響を与える社会は大丈夫ですか？それで防げるかもわからないのに防げるかのごとく言い訳をしながら不安を煽っているようにも見えます。政府から市町村まで行政側が注意を喚起するのはいいことですが、それによる多大な影響や被害についてはほとんど目をつぶり発信している行政側（まずは国）はその後の覚悟はもっているのでしょうか。被害とは、経済活動上の不利益や日常生活上の不便等から起きる健康・精神上の被害、感染した人及び同居者等への差別や偏見など様々です。また、受け取る側（企業や団体の長）にも覚悟が感じられないと思うのは私だけでしょうか。そんなことを言うと、あれだけ慎重に対処したから被害はこの程度で済んだのですなどという人々が後には出るでしょうが、それによって被害を受ける人のことは無視したものの言い様です。しかしそんなことにはお構いなしに、上から下まで（差別用語か？）、右から左まで同調しなくてはならないこのような風潮が私には全く腹立たしいことですが、かく言う私も流れには逆らえず、状況次第では他に追従しそうです。情けないのは自分です。

　さて、そのような園長が経営する園は心配でしょうか。園では以前から（今もそうですが）手指の洗浄やうがいの励行、時にはマスクの着用など園児の衛生管理はもとより、ドアノブや取っ手の除菌、室内の換気除菌などを毎日行い、園全体の衛生健康安全管理には力を入れてきました。当たり前のことなのですが敢えて言うのは、そうやってもインフルエンザは感染するし、ノロだって絶対に起こさないなどということは言えないのです。言ってる人もいますけどね。そういう人の「絶対」ほどあてにならないものはありません。私が言いたいのは、そうやっても「集団で生きる。社会の中で生きる。自然界の中で生きる。」ということは常に危険と隣り合わせであり、そういう所で生きているのだという覚悟をこれから生きる者たち（園児）にももたせなくてはならないということです。そこに行きさえしなければ、そこに集まりさえしなければという風潮。その行き先が、例えば卒園式の延期であり、中止です。卒園式を中止すれば何百分のいくつかの危険は回避できるかもしれません。しかしそれによって失う経験・体験の数・質、それはしようがないとあきらめるのですか。それほどの危険を感じているのですか。園児が集まるのは卒園式だけではありません。毎日、毎日、同じところに何十人も集まっているのです。なに？それぞれの教室に一クラスずつにしてくれ？15人程度なら安全だと誰が立証してくれるのですか。送迎のバスはどうするのですか。運行中止が安全だ？それとも休園がいいですか。困る人はいないんですか。困ってもしようがないとあなたは言えますか。お母さん方はどうですか。スーパーへの買い物はやめますか？行ったとしても必ず買い物かごを触った手はアルコール除菌し、家には絶対に雑菌を持ち込まないことはできますか？お父さん方はお客様と会ったり、会議で他人の呼気を吸い込んだりせず、世の中の雑菌を絶対に家に持ち込まず、子どもたちには触れさせないことができますか？ずいぶん無茶なことを言っているように聞こえるかもしれませんが、それができなければ野球やサッカーを延期するくらいでは追い付かないことなのです。

一人一人が健康に注意することは間違いなく良いことです。また、幼稚園は必ず登園しなければならないという場所でもありません。何を、どのように、どの程度というのはその集団やその環境により個々人の望み通りにはいかないものなので、最終的には自分で判断し実行するという覚悟が必要となるでしょう。そのための相談にはいつでも丁寧（この言葉はある政治家によって非常に陳腐な、安っぽいものになりましたが）に応じたいと私は常々思っていますし、職員も同じだと思います。

という内容で27日昼ごろ仕上がった原稿でしたが，同日夜の首相の小中高特支校の休校要請により事態は複雑化しました。しかし，本園は今までの予定通りに運営を進めていく予定です。急な変更がある場合はその都度ご連絡いたしますので，ご協力をお願いいたします。